

一定期間、装置の電源をお切りになるお客様へ



#### 【対象装置】

730-ES / 735-ES / 720-ES / 725-ES / 710-ES / 715-ES

VISTA-PRO-AX / VISTA-PRO-RL / VISTA-MPX-AX / VISTA-MPX-RL

VISTA-AX / VISTA-RL ※図は 730-ES

700-ES シリーズ/VISTA シリーズの分光器は、一定の温度に温めることで安定しています。

そのため主電源は常時オンの状態ですが、停電、年末年始の休暇などで、止むを得ず装置の電源を停止められることもあります。

本マニュアルでは、装置の停止から起動までの手順をご説明します。

#### 装置の停止方法

装置正面左下に主電源スイッチがあります。1がオン、0がオフの状態です。

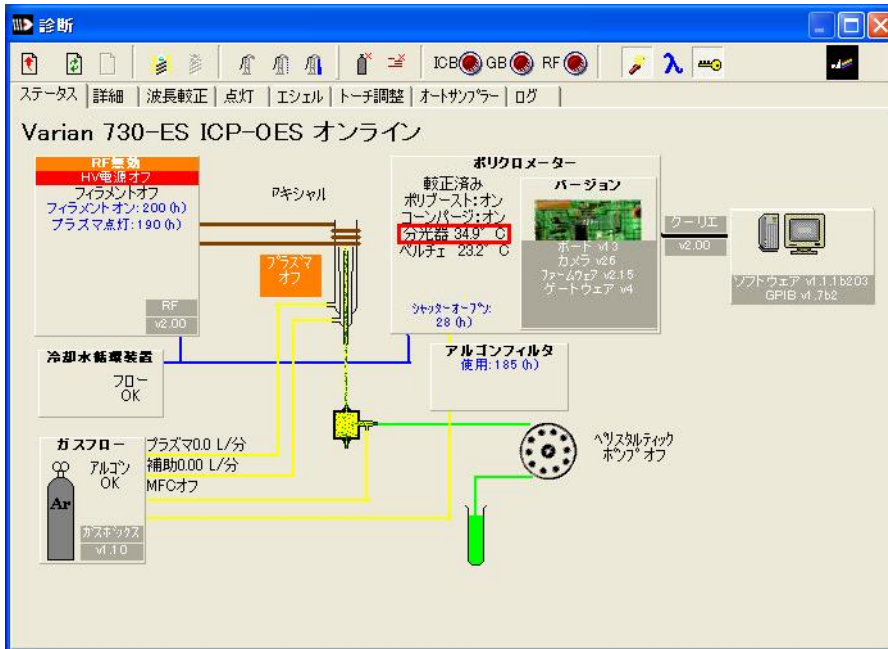
ICP Expert (アプリケーションソフトウェア) が終了していることを確認し、主電源スイッチをオフにします。

## 装置の起動方法

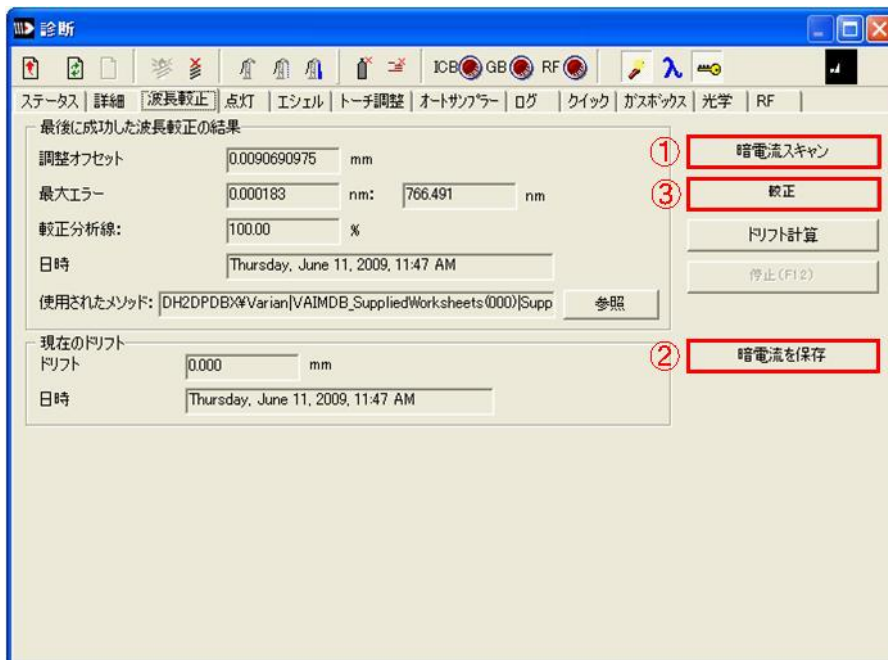
1. 主電源スイッチをオンにします。

2. ICP Expert を起動し、[ステータス]画面を確認します。

□で囲った分光器の温度が約 35°Cに上昇するまで待ちます。数時間かかります。



3. 分光器の温度が 35°Cに到達したら、[波長校正]画面に切り替えます。



図は 730-ES です。710-ES / 715-ES / VISTA-MPX-AX / VISTA-MPX-RL では若干表示が異なりますが、手順は同じです。

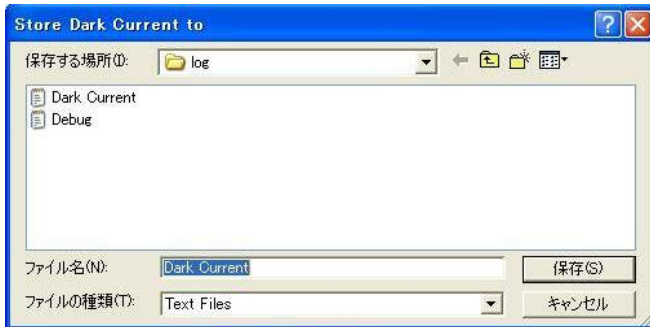
純水をセットし、プラズマを点灯します。15分～30分程度安定させます。

始めに 暗電流スキャン を実行します。

① [暗電流スキャン]ボタンを押します。

しばらく待つと「暗電流測定完了。」と表示されます。OK を押します。

次に②[暗電流を保存]ボタンを押すと、下の画面が開きます。[保存]ボタンを押します。



続いて **波長較正** を実行します。

純水を ICP-OES 波長キャリブレーション溶液に入れ替えます。

波長キャリブレーション溶液がネブライザに到達するまで待ちます。

③[較正]ボタンを押します。

しばらく待つと「波長較正が完了しました。」と表示されます。OK を押します。

4.装置の発光強度を確認します。

Mn5ppm のトーチスキャン、または普段測定されている標準溶液の発光強度を確認します。

装置停止前と同等の強度が出ていれば完了です。分析を開始してください。

 強度が低い場合。

分光器の温度が 35°C に到達した直後で、分光器が安定していない可能性があります。

装置を一晚安定(電源を入れたまま放置)させた後、翌日 **波長較正** の手順から試みます。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンターまで(電話受付 9:00~12:00,13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

FAX  0120-565-154

E-mail: [email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

<http://www.agilent.com/chem/jp>